



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

『今・ニニヨでなければならぬ
学びを止めないために
～8月6日のヒロシマから』

澤村 雅史 広島女学院大学 共通教育部門 教授

内原 朋嗣 関西学院大学 教務機構事務部 課長
(ハンズオン・ラーニングセンター担当)

「ヒロシマと平和」／平和学特別演習「ヒロシマ」について



W.R. ランバス博士（宣教師）



サーロー節子さん
（2017年 ICANノーベル平和賞受賞スピーチ）

「ヒロシマと平和」／平和学特別演習「ヒロシマ」

広島女学院大学（HJU）と関西学院大学（KGU）の合同授業（2005年～）

- ①2回の事前授業＋集中講義（宿泊型研修）
- ②座学・フィールドワーク・ディスカッション・発表による総合的な授業
- ③多様な学生の集合体（KGU＋HJU、年齢、性別、学部・学科、関心等。
【例】被爆3世のアイデンティティ（HJUにも、KGUにも）。
ナガサキ・オキナワからも。
国際関係、平和学、核廃絶、単位欲しさ、etc.）
- ④KGUハンズオン・ラーニングセンタースタッフの存在と貢献：
ロジスティクス、生活指導、モチベーション維持、
ディスカッション指導、事前・事後のフォロー
⇒ 「合同」授業の実質化

**教員、職員、学生、フィールド、
出会う人々
すべてがリソース（+という経験）**

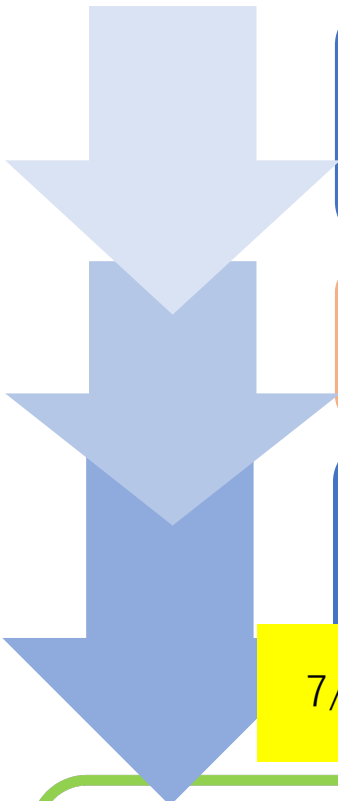
2020年度 中止（閉講）

コロナ禍

8.6のヒロシマでなければ
成立しない学び

2021年度 開講！

するためにはどうすればよいか...



5/22 第1回事前学修

- ・授業目的の説明、夏期研修概要について。
- ・原爆関連の基礎知識（1）
- ・グループワーク（主にアイスブレイクとチームビルディング）

課題 NHKスペシャル「きのこ雲の下で何が起きていたのか」視聴

7/3 第2回事前学修

- ・原爆関連の基礎知識（1）
- ・グループワーク（学んだことの整理）

7/31 47人

8/1 51人

8/2 54人

8/2～ 大阪 緊急事態措置

8/4～8/8 現地実習 HJU 12名

- ・フィールドワーク、座学、ディベート、プレゼンテーション。
- ・出会うすべてをリソースとして。
- ・この時でなければならぬ出会いがある。

安全
安心

学び
の質

従来の夏期研修

宿舎での共同生活

インタビュー調査
アンケート調査

自由に行動



事前PCR検査
マスク着用
社会的距離
密を避ける
消毒

KGU生 ホテル個室
HJU生 自宅通い
黙食

不特定多数の人との
接触禁止

イベント数減少
施設臨時休館

今回の夏期研修

従来の夏期研修

デジタルコラボレーション
ツールの活用

安全
安心

学び
の質

事前PCR検査
マスク着用
社会的距離
密を避ける
消毒

KGU生 ホテル個室
HJU生 自宅通い
黙食

不特定多数の人との
接触禁止

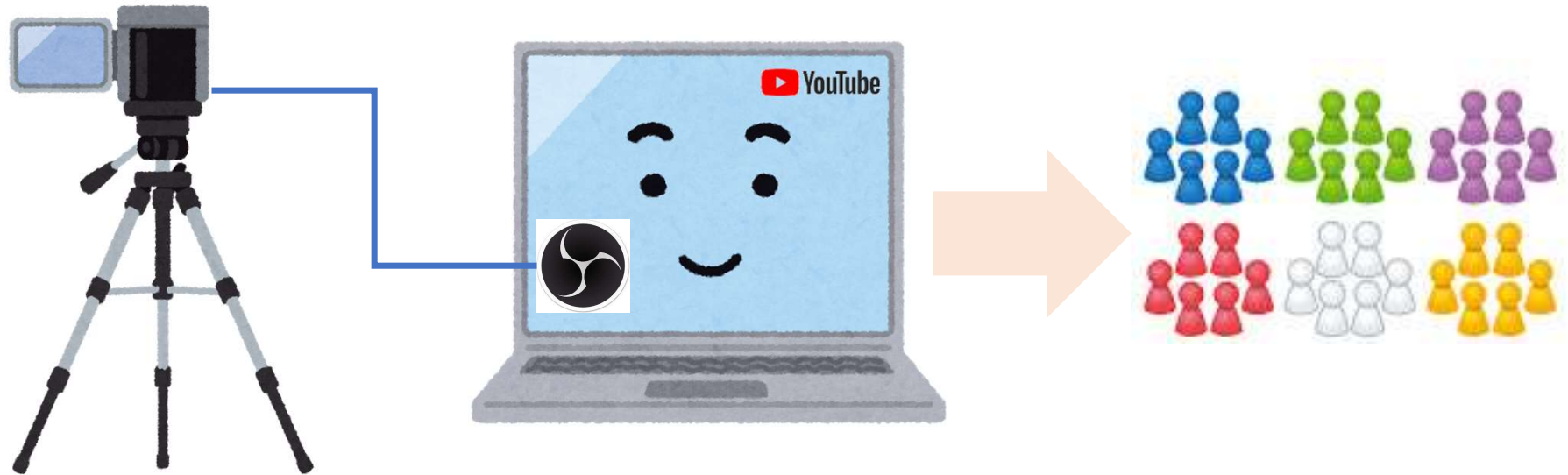
イベント数減少
施設臨時休館

今回の夏期研修

「ヒロシマと平和」／平和学特別演習「ヒロシマ」における
デジタルコラボレーションツールの活用事例

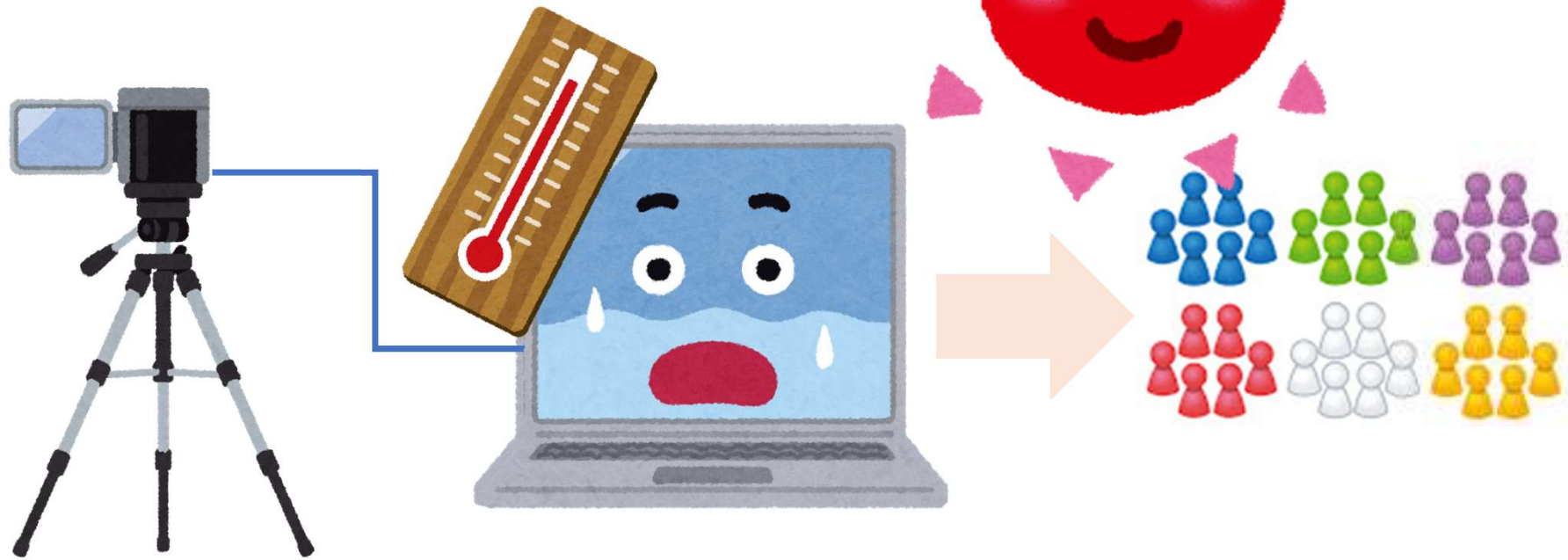
碑めぐり（初日・昼）

- ・ 平和記念公園内にある記念碑の説明を通して被爆の実相を追体験しつつ、問題を捉える視座を獲得する。
- ・ 密集状態を避けつつ、説明をするには. . . ? 熱中症も心配。
- ・ Youtube LIVEによる説明をスマートフォンで視聴してもらう。



碑めぐり（初日・昼）

- ・ 平和記念公園内にある記念碑の説明を通して被爆の実相を追体験しつつ、多くの視聴者から多くの視座を獲得する。
- ・ 密集状態を避けつつ、説明をするには. . . ? 熱中症も心配。
- ・ Youtube LIVEによる説明をスマートフォンで視聴してもらう。



- ・ 最大の問題は「熱」！
- ・ タイムラグも大きい。
- ・ 途中でスマートフォンからZOOMによる配信に切り替えた。

ワークショップ（初日・夕）

- ・密集状態を避けつつ、ディスカッションをするには. . . ?
- ・対面での会話を避け、マスク有でも聞こえやすいように、教室内でGoogle Meetを活用。

配布資料からはビデオは省かせていただきます。

- ・慣れない形式のため、結局対面でディスカッションを始めてしまうグループもあったが、距離の取り方などについて留意することになった。

ワークショップ（初日・夕）

- ・ワークショップの成果として、翌々日から始まるフィールドワークの計画書（第1案）をGoogle Docsを使って作成。
- ・当日夜に授業担当者が、テーマや実行可能性などをチェックして、コメント。
- ・グループも無理のない範囲で夜間にも作業するよう促した。

FW計画書 グループ4	
テーマ	
8/5	被爆者健康手帳を所持している人の現状（病気の発症リスク、差別、線引きについて、など）
8/6	原爆による後遺症
8/7	原爆による後遺症～私たちが考えること～
理由/仮説/目標	
8/5	理由 ・講義を預けし、被爆者健康手帳について深堀りしたいと思った。 ・生命機構を学ぶ学生が多いグループなので、健康面での影響を考え、今後の学部生活に活かす活動をしたと考えた。 ・復旧が進み、「歴史」になりつつある今、被災後長期間の医療情報がデータ化されていると思うので、整理したい。 仮説 ・白血病、がんの発症が高いと考える。 ・減ってきているがまだ差別はある。 ・申請することをためらう人が多いために普及が遅れているが、被爆者の高齢化に伴い、今後の発行数は減少すると考えられる。 目標 ・被爆者の健康面での現状を明らかにする。 ・被爆者健康手帳は原爆後時間が経って普及が広がっているのに、現在も授与されていない方々の助けになるような案を発信する。
8/6	向上
8/7	理由 ・復旧が進み、「歴史」になりつつある今、原爆は決して過去の問題ではないことを改めて確認したい。 ・生命機構を学ぶ学生が多いグループなので、原爆の放射線による健康面での影響（後遺症）を詳しく学び、それらを受けて現在も被爆者の現状について考察したい。 仮説 ・放射線による影響として、白血病やがんの発症リスクが高いと考える。 ・減ってきているがまだ被爆者に対する差別はある。 目標 ・被爆者の（身体的・精神的）健康面での現状を明らかにする。 ・差別について考える。
コース	
8/5	8/5 各自資料集め→平和記念式（女学院中・高等部）→平和記念資料館→インターネットを利用してワークできる場所(厚生労働省・広島市のホームページ等の資料を参照する)

8/6	8/7 午前中は2班に分かれて活動 1班：アンデルセン・旧広島銀行（紙屋町の電車通り）・中央公園を見学、放射線影響研究所の建物を狙に行く 2班：市立図書館にて資料収集&まとめ 全員集まってハチドリ舎で昼食→午後は最終プレゼンテーションのPP完成
8/7	
澤村より（ご確認後削除していただいてもかまいません） Slackの#資料に載せた放射線のオープンハウスはぜひチェックしてみてください。	
澤村より 8/6 7:40（ご確認後削除していただいてもかまいません） 「病気の発症リスク、差別、線引きについて」は良い着眼点ですが、かなりセンシティブなテーマになるように思います。もし自分だったら、と考えてみてください。調べ題材としては良いテーマですが、取り上げ方、発表の仕方については要注です。お昼にFWに送り出す際にくわしくお話ししましょう。	
きをつけていってらっしゃーい！	
8/6 20:00記入	
いくつかの案を提案します。	
案1）思い切ってテーマを代えてみる。たとえば「被爆樹木」 ◦緑の伝言 https://green-greetings.com/jp/map/ ◦広島市ホームページ掲載の被爆樹木リスト https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/48/9262.html	
人間の健康とは大きく違いますが、樹木と関連づけることで今日調べたことも活かせるかも。	
案2）放射線影響研究所のオープンハウスで言われていること、「黒い帯」訴訟を支援会の裁判記録などを照合してみる。 https://blackrain1.jimdofree.com/ 下記の報告書も参考になると思われる。 https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/000094132.pdf	
さらに、データだけの調査にならないように、たとえば放射線影響研究所の建物を狙ってみたいとか、黒い帯が降ったとされる地域まで行ってみたいとか（一番遠い地域は北面に20km以上なのでレンタカーなどがないと無理。下記の記事の中で一番近い安東ならバス	

アストラムラインなどで行けそう）。定めて自分たちの体験に結びつけると、良い発表になるかも。 http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=6330	
黒い帯訴訟のことはホットな話題なので、発表の対象にする意義は大きい。	
案3）発表につながる出会いを求めて、特徴的な場所を回ってみる。ただし、良い出会いがあるとは限らないので賭けです。 ハチドリ舎なども訪れてみるとよいかも。 https://hachidorisha.com/	

- ・授業担当者の見解やアドバイスや関連資料のURLなども書きこむことができたのは大きな利点であった。
- ・グループワークやフィールドワークの進捗状況のチェックにも活用できた。
- ・夜間のワークは対面に比べるとかなり限定的であった。

共通プラットフォームの必要性

- ・ HJU生はGoogle Classroom、KGU生はLUNA(KGU独自システム)を使用。共通のプラットフォームの必要性。
- ・ Slackにワークスペースを準備し、研修開始前に招待リンク経由で登録を促した。
- ・ generalのほか、グループごとのチャンネル（ただしあえてオープン）、資料のチャンネルを設けた。

The screenshot displays a Slack workspace for 'ヒロシマ' FW. The left sidebar lists various channels, including #general, #random, and a dedicated #資料 channel. The main content area shows a message from 澤村雅史(HJU) at 19:22, which includes a link to a Yahoo! News article titled '広島のお好み焼き 店名に「OOちゃん」が多いのはなぜ? 戦争や原爆と深い関わり (神戸新聞NEXT) - Yahoo!ニュース'. The article text describes the ingredients and preparation of okonomiyaki, mentioning 'thin stretched dough', 'mountain of cabbage', 'pork belly', 'squid', and 'ice cream'. A photo of a finished okonomiyaki dish is attached to the message. The interface also shows a date filter for '8月10日(火)' and '8月11日(水)', and a message input field at the bottom.

- ・ 進捗と健康状況の把握のため、各グループから定時連絡を入れてもらった。
- ・ 特別講師の講義中に話題に上がった関連資料や、フィールドに関する資料、リアルタイムでの報道資料など、随時アップした。
- ・ 参加者からの随時の質問や情報提供など、活用が進んだ。
- ・ ZOOMやGoogleフォトとの連携も便利。
- ・ サムネイル表示がありがたい。

一日のまとめ

- ・ ZOOMによる全体ミーティング
- ・ KGU生は宿泊個室、HJU生は自宅。またはフィールドワーク先から接続。
- ・ グループごとに活動の振り返りを行った。

配布資料からはスクリーンショットは省かせていただきます。

- ・ 学びの進捗状況や心身の状態などを把握することができた。
- ・ できるだけ多くの参加者が何らかの発言ができるようにリードした。
- ・ 場所にとらわれることなくディスカッションに参加できた一方で、移動に重なってしまっていて参加できない学生もいた。

プレゼンテーション（最終日）

- ・グループごとにMS PowerpointまたはGoogle Slideで発表。
- ・発表後すぐにピアレビューをGoogle Formを使って集約し、コメント部分を匿名でまとめてSlackで配信。授業担当者からの講評もSlackで返した。

「ヒロシマ」プレゼンテーション G2ピアレビュー

名前*

グループ*

内容*

発表姿勢*

役割分担*

短評*

送信

タイムスタンプ	名前	グループ	内容	発表姿勢	役割分担	短評
2021/08/08 14:19:25		G4	9	5	5	内容はとても興味深いと感じましたが、いざ自分が小学生の頃から平和学習を学校で行ったとしてそれも「やらされた」平和学習でしかなく、意識は中々変わらないのではないかと思ってしまいました。
2021/08/08 14:20:57		G1	10	4	5	パワーポイントが非常に見やすくアニメーションもあり見ていて楽しかったです。ラーニングミラミッドで段階的に子どもに学ばせることで、後生にも伝わると感じました。
2021/08/08 14:21:52		G4	9	3	5	教育的な視点からの平和についての意見、興味深かったです。
2021/08/08 14:22:17		G6	8	5	5	このようなかつての子供達の状況を示すことは、必ず児童教育に良い影響を与えると思います。
2021/08/08 14:24:00		G5	10	5	5	私は将来学校の教師になろうと思っているので年代別に平和学習について考えられていたこのプレゼンはとても役立ちました。質問の時の疑問点も解消されました。
2021/08/08 14:24:52		G5	9	5	5	学年によって段階的に教えるという点でその年齢にあった学び、教えることはいいと思いました。
2021/08/08 14:25:12		G6	9	4	5	自分たちの調査を通して「平和」について自分たちで考えられているところが素晴らしいと思いました。平和学習で「恐怖よりも共感」というところ非常に納得しました。自分たちで小学生のときにどのようなことをするかを教科ごとに取り上げていて、具体性があり良かったです。
2021/08/08 14:25:25		G1	10	5	4	年間20ドルの養育費であったが、当時の1ドルは現在ではどのくらいになるかも聞きたかった。また、昭和34年までに原爆孤児への養育費の総額、約2000万円の寄付に關しても現代に換算するとどのくらいになるのかも聞きたい。よりイメージが湧きやすいように感じた。
2021/08/08 14:25:44		G1	9	5	5	全体的にまとまって、とても分かりやすいプレゼンテーションでした。
2021/08/08 14:25:59		G1	8	4	5	調べた事柄をもとに、今後について考えが向けられており、未来を見据えた教育に対する意見はとても参考になるなと思いました。
2021/08/08 14:26:11		G6	9	5	5	良かったです。
2021/08/08 14:26:22		G3	10	4	5	15分という時間内にきれいにまとまっています。発表内容に無駄のなさを感心しました。
2021/08/08 14:26:38		G6	10	5	5	自分たちの教育活動の振り返りを活かして、中、高学年に対応した、今後の平和教育活動に、役立てるような内容でした。
2021/08/08 14:26:38		G6	10	5	5	教育をメインに考えて、学年別、小学校、中学校、高等学校と教育方法を考えることが今後に活かせるのではないかと感じました。
2021/08/08 14:27:03		G6	10	5	5	持論が分ちやすく、スライドもとても見やすかったです。また、「平和」の広がりについて自分なりに考えました。平和学習に限らず対象者の範囲に合わせた広がり方が重要になると感じました。
2021/08/08 14:27:17		G4	10	4	5	教育からの視点での平和学習の発表でした。私も教育について色々勉強しているのでも面白かったです。
2021/08/08 14:27:26		G1	10	5	5	私は、原爆のことについて考える機会必ず多いという感情については当たり前のことだと思っています。その先に共感や、協力したいという感情が湧くと感じました。
2021/08/08 14:27:31		G6	10	5	5	社会教育や教育活動の現場にいる中で、平和教育について聞かれ、とても面白かったです。私自身、日本史が好きだから勉強している側面が強いため、各教科内で平和教育を行うことで自分の得意な分野から平和について考えるきっかけを得られることとても共感しました。
2021/08/08 14:27:32		G1	9	5	5	プレゼン準備がとてもスムーズにでき、教育系を先行している方々ならではの視点からのものでも良かったと思います。
2021/08/08 14:27:41		G3	10	5	5	資料集も手付ったように知識が豊富でいるみたいでした。
2021/08/08 14:27:41		G3	10	5	5	自分たちの発表からの学びが聞かなくて、これからどのように自分の学びが聞かせるかすごく勉強になりました。
2021/08/08 14:27:52		G4	10	4	5	教育者ならではの子どもたちに注目を集めて興味深い内容でした。子どもたちに注目を集めて紹介している経験などはないと思うのでわかりやすくまとめた方がいいと感じました。動画も活用が良かったです。
2021/08/08 14:28:13		G4	10	5	5	流れが統一されていて、聞き取りやすかったです。文章も読みやすかったです。たくさん聞かれたのだと感じました。とても勉強になりました！2冊の方に、僕の感想も含めて今年度生まれた疑問を解消してもらったのでとても有意義でした。
2021/08/08 14:28:51		G2	10	5	5	スライドが見やすかったです！そして、教育者としての学生が多いことから、対象別に教育内容を分けて発表されているのはとてもわかりやすかったです。私が思ったように、発表内容の細分化されたテーマについてはよくわかったのですが、全体的なテーマで題材は結局なんなのかなと思いました。例えば、教育の学校の現場が大事なことを感じていて、教育についてなかなか中々でわかってきました。
2021/08/08 14:30:04		G4	9	5	5	平和学習について応用範囲として今まで学習してきたのと同じことと平和について、経験者としての違いが分かりやすかったです。
2021/08/08 14:32:22		G5	10	5	5	子どもたちに平和学習を行っていきながら毎年毎年学年高学年に分かれて具体的な計画も立てていくのも興味深かったです。
2021/08/08 14:39:24		G5	9	5	5	

G2

- ・内容はとても興味深いと感じましたが、いざ自分が小学生の頃から平和学習を学校で行ったとしてそれも「やらされた」平和学習でしかなく、意識は中々変わらないのではないかと感じてしまいました。
- ・とても面白かったです。文部科学省で目指されている方針(アクティブラーニング)に当てはめて平和教育についてたくさん考える時間を持たれたらいいなと思いました。私も教職課程を履修していたことがあるので、その知識も踏まえてとても最新の提案が聞けて刺激になりました。お疲れ様でした。
- ・パワーポイントが非常に見やすくアニメーションもあり見ていて楽しかったです。ラーニングミラミッドで段階的に子供たちに学ばせることで、後世にも伝わると感じました。
- ・教育的な視点からの平和についての意見、興味深かったです。このようなかつての子供達の状況を示すことは、必ず児童教育に良い影響を与えると思います。
- ・私は将来学校の教師になろうと思っているので年代別に平和学習について考えられていたこのプレゼンはとても役立つものでした。男性の方の質疑応答の返答もとてもお上手で感心しました。
- ・学年によって段階的に教えるという点でその年齢にあった学び、教えることはいいと思いました。
- ・平和学習している「教育」という観点から、子どもという存在にどうの原爆というものを教えているのが興味深かったです。将来教育者を目指している方々がプランを組んでシミュレーションしている事も面白かったです。
- ・自分たちの調査を通して「平和」について自分たちで考えられているところが素晴らしいと思いました。平和学習で「恐怖よりも共感」というところ非常に納得しました。自分たちで小学生のときにどのようなことをするかを教科ごとに取り上げて、具体性があり良かったです。
- ・年間20ドルの養育費であったが、当時の1ドルは現在ではどのくらいになるかも聞きたかった。また、昭和34年までに原爆孤児への養育費の総額、約2000万円の寄付に關しても現代に換算するとどのくらいになるのかも聞きたい。よりイメージが湧きやすいように感じた。
- ・全体的にまとまって、とても分かりやすいプレゼンテーションでした。
- ・調べた事柄をもとに、今後について考えが向けられており、未来を見据えた教育に対する意見はとても参考になるなと思いました。
- ・15分という時間内にきれいにまとまっています。発表内容に無駄のなさを感心しました。

- ・他のグループの参加者からのコメントは励ましや新たな気づきにつながった。
- ・質疑応答に有効に時間を使うことができた。
- ・従来は収集できなかったコメントも収集できた。

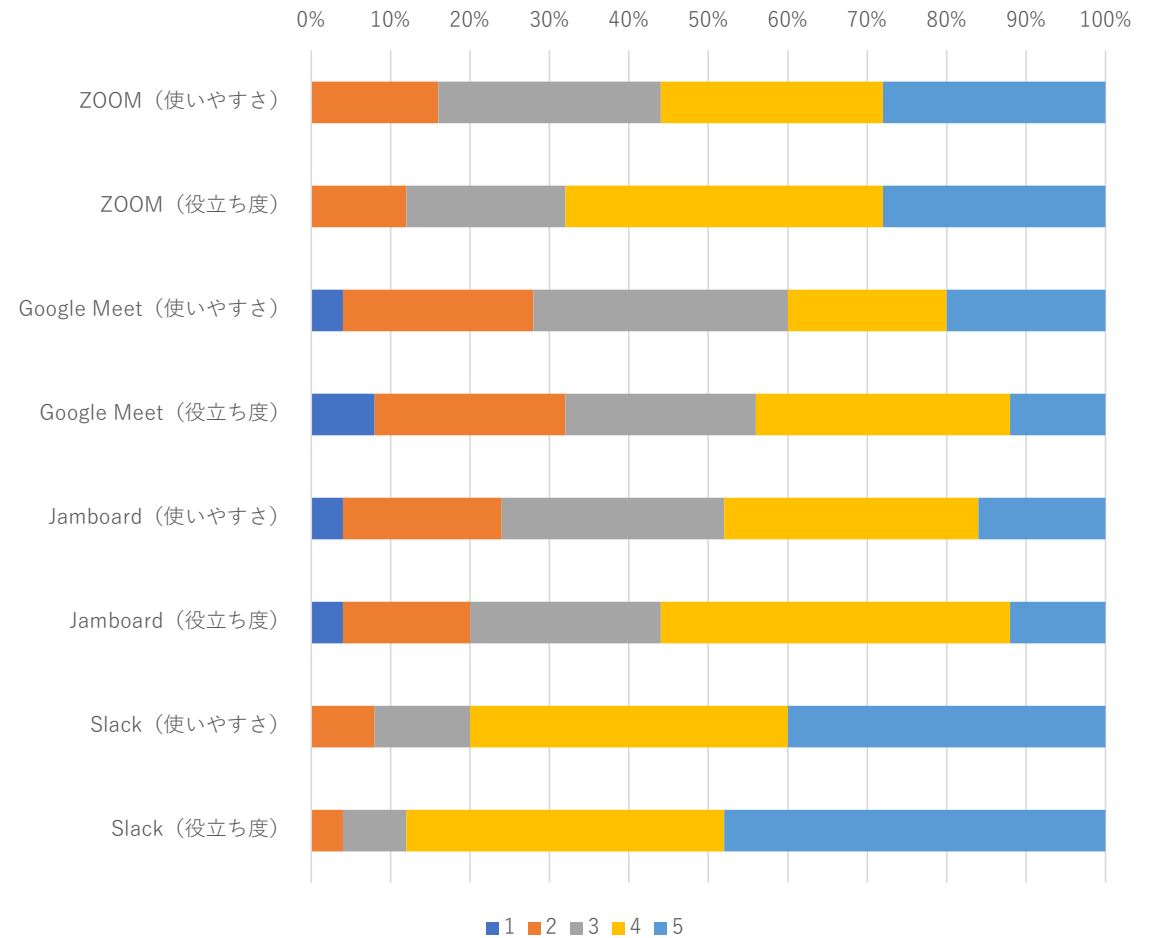
「ヒロシマと平和」・「平和学特別演習 ヒロシマ」日程表

		8月4日		8月5日		8月6日		8月7日		8月8日	
						広島市記念式典 (参列不可) ※グループ行動	平和公園				
				集中インプット	HJU 教室	移動					
				特別講義1 宇吹暁先生							
				集中インプット	HJU 教室	広島女学院祈念式典	HJSホール			まとめ	HJU教室
		集合 (平和記念公園)		特別講義2 宇吹暁先生		昼食	HJSチャペル	フィールドワーク ※グループ行動	市内		
		調べぐり		屋食	HJU教室	準備				屋食	HJU教室
		屋食		各自 (グループ毎)							
		平和資料館 ※グループ毎見学		平和公園	HJU チャペル	集中インプット		フィールドワーク ※グループ行動	市内		
				被爆証言講話 松本滋恵さん						発表	HJU教室
		移動		各自 (グループ毎)	HJU教室	特別講義3 西河内靖泰先生					
		ゴグルミーティング (視点整理)		HJU教室	HJU教室	ワークショップ (視点整理・計画)					
								まとめ	ZOOM	まとめ	ZOOM

【デジタルツールについて】

ZOOM（使いやすさ）	3.68
ZOOM（役立ち度）	3.84
Google Meet（使いやすさ）	3.28
Google Meet（役立ち度）	3.16
Jamboard（使いやすさ）	3.36
Jamboard（役立ち度）	3.44
Slack（使いやすさ）	4.12
Slack（役立ち度）	4.32

※回答者26名。5段階評価の平均。



【学生の声より（感染症対策）】

- マスクを外していても同じ方向を向いて食べることを徹底していたグループを参考にして、黙食・できれば同じ方向を向いて食べることを意識し、感染対策をしていました。
- 各部屋での朝食や全員が同じ方向を向いて食べる食事は今のご時世特有のものですが、徹底的に行われていたように思います。もう少し手指消毒をする機会があっても良かったのかなとも感じました。
- マスクは徹底していましたが、議論が白熱すると飲食中にも議論を始めてしまったのは反省すべきだと思いました。今後、同じようなものに参加する際は気をつけたいと思います。
- グループのみんなで感染対策をきちんとし、今コロナが本当に身近な存在であるという危機感を改めることができた。

【学生の声より（熱中症対策）】

- 日傘をさしてもすごく暑くて、適宜涼むことの大切さを再確認しました。
- できるだけ日陰を歩いたり、こまめに飲み物を飲むなど、熱中症対策については万全にできたと思います。
- グループで行動する時に、自分たちのタイミングで休憩することも必要ですが、時間を設定して定期的に休憩や水分を摂るようにすると、定期的に休めることができると思います。
- 健康係を中心にグループの中で体調を確認していました。特に改善点は思いつきません。昼食時など塩あめも用意してくださってありがとうございました。

【学生の声より（学んだこと）】

- 今回、初めて広島という地を訪れ、平和とは何であるのか、私たちには何ができるのかを見出すことができたと思う。貴重な体験に溢れたこの時間は、教員になりたいと思う理由がまた一つ増え、自分を前に成長させてくれたようにも感じる。広島という地や、原爆に向き合う時間を作ってください、考え、挑戦する場を掴ませて下さりありがとうございました。
- 研修をやる前とやった後では、自分でも驚くほどの変化がありました。これは受動的な学習と能動的な学習の差です。平和学習に限らず、今後の人生においても重要な、十分に価値のあるものだと思います。一時は困難もありましたが、関係する全ての人に大きく感謝します。本当にありがとうございました。
- とても有意義なものになりました。コロナ禍で行動が制限されることもありましたが、同じことを勉強しているメンバーが集まったことで、スムーズにテーマを決めることができ、内容を深く掘り下げることができたと思います。学習の場を設けていただきありがとうございました。他県の学生との交流ということもあり、広島で育った私とは違う新鮮な考えに触れることができ、大変勉強になりました。
- まず、原爆について学びたいと考える同世代の方々と出会えたこと、そのような機会を設けてくださったことに感謝しています。このようなご時世の中、貴重な講義や平和祈念式への参加など、私1人では決して実行することのできない研修内容で構成されていて、私の財産となる体験をすることができました。フィールドワークでは私たちが"広島に足を運んだからこそ学べること"を発見できるように様々なサポートをして下さり、こちらの授業を履修することができてよかったと心から思えました。

まとめ（成果と課題）

- 感染防止対策や熱中症対策による制限に対してデジタルコラボレーションツールの活用は学びの質を維持・向上させるうえで大きな効果があった。
 - リアルに比べてコミュニケーションの質が落ちる一方で、場所や距離の制約を超えることができたり、ビデオ会議ならではのコミュニケーションの質を体感する場面もあった。
 - デジタルコラボレーションツールの特性を生かしたワークを実践できた（Slackによるリアルタイムでのアドバイスや情報提供など）。
-
- デジタルコラボレーションツールについては手探りで、状況に合わせて模索しながらだったため、十分な活用につながらなかった（特性を生かし切ることができなかった or 受講生が戸惑った）面もあった。
 - 熱には注意！

ご清聴ありがとうございました。



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY